

特待生受験課題曲

器楽科

ピアノ専攻・指揮科副科・作曲科副科

次の(1)～(3)を暗譜で演奏すること。

- (1) J.S.Bach : 平均律ピアノ曲集(1巻および2巻)より任意の一曲
(プレリュードとフーガの両方を準備すること)
- (2) 次のAまたはBを選ぶこと
- A . Chopin : 練習曲集 op.10 および op.25 より任意の二曲
(当日一曲指定)
- B . 次の a ~ e のいずれか一つの練習曲集より任意の二曲
(当日一曲指定)
- a . モシュコフスキー op.72 b . クレメンティ
c . ケスラー d . チェルニー 50 番以上
e . クラマー=ビューロ 60 番
- (3) Haydn, Mozart, Beethoven のソナタより任意の一曲
(全楽章又は緩徐楽章を除く)

[注] 但し(2)のB.から選曲した場合はA特待の除外となる。
又、(3)は全楽章を演奏した場合のみA特待選考対象となる。

ヴァイオリン専攻

次の(1)～(3)を暗譜で演奏すること。

- (1) スケール…カール・フレッシュ・スケールシステムより
No, 5 及び No, 6 (最初の8小節まで)を全調、
又は、それぞれ3つまでの長調、短調(調は当日指定)
- (2) 次のAまたはBを選ぶこと。
- A . 次の a ~ c から一曲選ぶこと。
- a . J.S.Bach : 無伴奏ヴァイオリンのための
ソナタとパルティータより任意の一曲
- b . Paganini : カプリスより任意の一曲
- c . Dont : 練習曲 作品 35
- B . 次の a . b のいずれか一つの練習曲より任意の一曲
- a . クロイツェル b . ローデ
- (3) 次の a ~ g の協奏曲から任意の一曲
- a . Mendelssohn : 協奏曲 第1楽章
- b . Mozart : 協奏曲第4番 第1楽章
- c . Vieuxtemps : 協奏曲第5番 第1楽章
- d . Wieniawski : 協奏曲第2番 第1楽章
- e . Saint-Saens : 協奏曲第3番 第1楽章 or 第3楽章
- f . Glazunov : 協奏曲 (283小節まで)
- g . Lalo : スペイン交響曲 第1楽章

[注] (1)は全調で受けた場合のみA特待選考対象となる。

ヴァイオリン以外の弦楽器及び管楽器専攻

- (1) 全調スケール (調は当日指定)
- (2) 練習曲 任意の一曲
- (3) 自由曲 任意の一曲

[注] (2)(3) は受験課題に準ずる。

声楽科

次の A または B の中から任意の二曲を暗譜で歌うこと。

- A . 日本歌曲
- B . イタリア歌曲

[注] 一曲は B から選曲すること。

副科ピアノ

- (1) J.S.Bach : インヴェンションまたはシンフォニアより一曲
- (2) Haydn, Mozart, Beethoven のソナタより任意の第 1 楽章
- (3) スケール… 、 それぞれ 3 つまでの長調、短調 (調は当日指定)

教育系大学

ピアノ、声楽で受ける場合は、ピアノは副科ピアノ、声楽は声楽科の課題で受けること。

ピアノ、声楽以外の専攻楽器で受ける場合は、事前に申し出ること。

曲は受験課題に準ずる。

A 特待、B 特待合格の有無は、専攻実技 (副科) 及び各種試験科目の総合点によって評価致します。